

## 「ピン・ポン・バスでつながるわたしたち」

指導目標	<p>◎自分たちの生活は、お店や病院など地域のさまざまな場所や人々と関わっていることが分かっている。</p> <p>◎公共物であるバスが、地域のさまざまな施設をつなげることで、地域の人々の役に立っていることが分かっている。</p> <p>◎公共物であるバスの車内で、自分以外の人のことを考えて行動しようとしている。</p>
公共交通を教材とする利点	<p>バスは「場所」と「場所」をつなぐだけでなく、「人」と「人」をつなぐ地域の財産でもある。身近なバスを題材とする絵本『ピン・ポン・バス』の朗読等により、人と人とのつながりや思いやりの心を、より具体的に考えることができる。</p>
対象学年	1・2年生
対応教科	生活科、道徳
標準校時	1コマ
学習構成	<div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid #8bc34a; border-radius: 15px; display: inline-block; padding: 5px 15px;">1. 絵本「ピン・ポン・バス」を知っているかな？</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">↓</p> <p style="margin-left: 20px;">・絵本『ピン・ポン・バス』の朗読を聞いて、あらすじを知る。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid #8bc34a; border-radius: 15px; display: inline-block; padding: 5px 15px; margin-top: 20px;">2. ピン・ポン・バスはどんなところを走ったかな？</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">↓</p> <p style="margin-left: 20px;">・絵本の中に登場するまちの様子を、みんなで思い出しながら地域のさまざまな施設をあげていく。絵本の中の街と自分たちが住んでいる地域と対応づけながら似ている部分を知る。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid #8bc34a; border-radius: 15px; display: inline-block; padding: 5px 15px; margin-top: 20px;">3. ピン・ポン・バスの車内ではどんなことが起こったのかな？</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">↓</p> <p style="margin-left: 20px;">・絵本の中のバスの車内で起こった出来事（たとえば、病院から乗ってきた風邪のおじいさんに席をゆずる）を、みんなで思い出しながらあげていく。自分の日頃の生活で似た場面があったかどうか考える。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid #8bc34a; border-radius: 15px; display: inline-block; padding: 5px 15px; margin-top: 20px;">4. バス(公共物)にはどんな役割があるだろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共物であるバスは、地域の施設どうしをつないで人々の役に立っていることが分かる。</li> <li>・バス車内の出来事から、自分以外の人の気持ちになって考えることの大切さに気づいて、自ら行動をしようと思う。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">※絵本『ピン・ポン・バス』（竹下文子作、鈴木まもる絵、偕成社）を使用している。</p> </div>

『ピン・ポン・バス』（竹下文子作、鈴木まもる絵、偕成社）の一場面



駅前を出発したバスは、いろんな停留所でピンポンとなって止まります。少し田舎町ののどかなバスの旅。楽しいのりもの絵本！  
((株)偕成社ホームページより)

